

明日に処刑を… (1972)

BOXCAR BERTHA

メディア 映画

ジャンル 青春 ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 89分

初公開日 1976/11/20

公開情報 ヘラルド

【解説】

M・スコセッシの長篇デビュー作で、当時コーマンが量産していたギャングものの一本だが、既に随所にその芸術性は開花している。30年代初頭、父を亡くしたバーサ（B・ハーシー）は貨車にただ乗りしては放浪を続けるホーボー生活に入り、労組の活動家ビル（D・キャラダイン）と知りあい恋に落ちる。やがて二人と他の仲間たちはギャング団を結成していくのだが……。行く末に待ち受けるものはもちろん幸福な結末などではないが、それにしても鮮烈なラストは、後年スコセッシが撮ることになるキリスト映画「最後の誘惑」のモチーフが習作のように使われ、まさに見る者を“釘づけ”にするとだけ言っておこう。なお、日本での公開は「タクシードライバー」のヒットにかこつけて製作から4年後のことであった。

【クレジット】

監督	マーティン・スコセッシ	Martin Scorsese	
製作	ロジャー・コーマン	Roger Corman	
製作補	ジュリー・コーマン	Julie Corman	
原作	バーサ・トンプソン	Bertha Thompson	
	ベン・L・ライトマン	Ben L. Reitman	
脚本	ジョイス・H・コリントン	Joyce H. Corrington	
	ジョン・ウィリアム・コリントン	John William Corrington	
撮影	ジョン・M・スティーヴンス	John M. Stephens	
編集	バズ・フェイトシャンス	Buzz Feitshans	
音楽	ギブ・ギルボー	Gib Guilbeau	
	タッド・マクスウェル	Thad Maxwell	
出演	バーバラ・ハーシー	Barbara Hershey	ボックスカー・バーサ
	デヴィッド・キャラダイン	David Carradine	ビッグ・ビル・シェリー
	バーニー・ケイシー	Bernie Casey	ヴォン・モートン
	バリー・プリマス	Barry Primus	レイク・ブラウン
	ジョン・キャラダイン	John Carradine	H・バックラム・サートリス
	ヴィクター・アルゴ	Victor Argo	
	デヴィッド・R・オスターハウト	David R. Osterhout	
	ハリー・ノーサップ	Harry Northup	